

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	からふるone		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		2025年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		2025年1月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの発達状態に応じた個別療育と小集団療育が提供できる	・多職種の専門職員が支援にあっており、互いに連携することで支援内容の充実が図れる ・小集団にも必要に応じて、プロンプトを配置している ・小集団活動に参加の難しいお子様に対しては、90分個別療育を提供している	・個別、小集団を分けた療育内容の記録や日々スタッフ同士で情報共有、意見交換をする機会の充実を図る ・専門職と児童指導員との連携をスムーズにするシステムづくり ・学習、運動、情緒面など偏らないように、様々な方面から支援を行う
2	・多彩なイベントの開催	・ハロウィン、クリスマスなど季節に合わせた行事やイベント、春には毎年恒例の貸切バス遠足の提供など、年間行事に取り入れて実施している ・事業所周年イベントでは、夏祭りを実施している	・今後もより充実したイベントなどの提案 ・イベントを通じて、より多くのお子様の交流の場にもなるような仕組みを検討する
3	・お子様が安心感を感じながら、楽しく通所できている	・日々変化していくお子様を職員間で連携しながら、安定した支援ができるように毎日の職員配置を工夫している ・お子様一人ひとりの状況を理解し、共感的に接している ・お子様の好きなこと、興味を持てることを意識し、活動内容を組み立てている	・引き続き、お子様や保護者様からのニーズの把握に努める ・楽しく遊ぶ中で、集団生活に必要なスキルの獲得につなげていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との連携が少ない	・園や学校に訪問する機会は少しずつ増えてきているが、保護者様や園や学校からの働きかけがあった際のみ連携している現状	・保護者様に園や学校での様子などを聞き取り、保育所等訪問支援事業所などとも連携を図る ・お祭りなどの地域参加イベントの検討
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会などの開催ができておらず、保護者同士の交流の機会がつかっていない	・家族参加型のイベント企画を行っていない	・保護者様のニーズを把握する ・父母の会の活動を実施している近隣事業所などを参考に ・大型イベントで家族で参加、交流できる仕組みを検討する
3	・きょうだい児支援、ペアレントトレーニングなどの充実	・きょうだい児支援など保護者様からのニーズを拾い切れていない	・ペアレントトレーニングについて、スタッフの知識の向上を図り、保護者様のニーズを把握し実施していく